

プログラム概要

名称	私たちのトリセツ チームビルディング実践プログラム
対象	・コーポレートスタッフ、事務職 ・やりがいをもって仕事に取り組みたい方、チーム力をあげたいすべての方
実施方法	全6回のワークショップとその間の職場での実践

行動を変える第一歩を踏み出せる

さまざまなシーンにおいて、より成功確率の高い行動と、なぜその行動を取るべきかを学びます。自身の行動や考え方の傾向に気づきを得ながら、コンサルタントからの具体的なアドバイスで、行動を変える第一歩が踏み出せるようになります。

▶行動理論（考え方）に注目して、具体的な行動改善策をアドバイスする

指示待ちで、頼まれたことだけに対応し、仕事はルーチンワークをこなすだけ	現場でよくみられる行動	仕事は頼まれたことだけではなく、積極的に自分からのプラスαの提案、改善をしている
現時点で必要とされている(求められた)業務に対応しよう	心得モデル	必要とされていることだけでなく、会社の未来を創る業務を行おう
締め切りまでに滞りなく業務を進めれば(因)、スタッフの責務は果たせるから目標や計画を立てる必要はない(果)	因果理論	スタッフならではの視点や発想を活かすことで(因)、会社の将来を見据えた企画や提案をすることができる(果)
スタッフ業務は精算手続や資料作成など所詮事務作業が中心である	観	スタッフ業務は事務作業だけではなく、会社の根幹を担う仕事である

文句を言いながらも改善行動には着手しない	現場でよくみられる行動	問題意識を感じたら即改善に着手する
改善業務は時間が取れた時にやればいい	心得モデル	日々改善に取り組もう
就業時間内は定例業務で手一杯なので(因)、改善業務は残業時間にやるしかない(果)	因果理論	改善業務を行えば(因)、定例業務で手一杯という状況を変えられる(果)
スタッフの仕事は定例業務	観	スタッフの仕事は定例業務を改善すること

私たちのトリセツ

チームビルディング実践プログラム

自己革新できる事務スタッフチームを創る

日々の作業消化に追われがちな事務スタッフ部門が、新しい価値を生み出そうとするチームになる！
前向きに毎日楽しくやりがいをもって仕事ができる人とチームになる！



●お問い合わせ先 株式会社ジェック

貴社担当営業：



東京本社 〒170-6020 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60ビル20F TEL : 03-3986-6365
 大阪支社 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-9 新大阪フロントビル7F TEL : 06-6394-8335
 名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦1-4-25 伏見ITビル4F TEL : 052-212-1621

ジェックHPはこちらから
<https://www.jecc-net.co.jp>



事務スタッフチームが変われば、変革が加速する

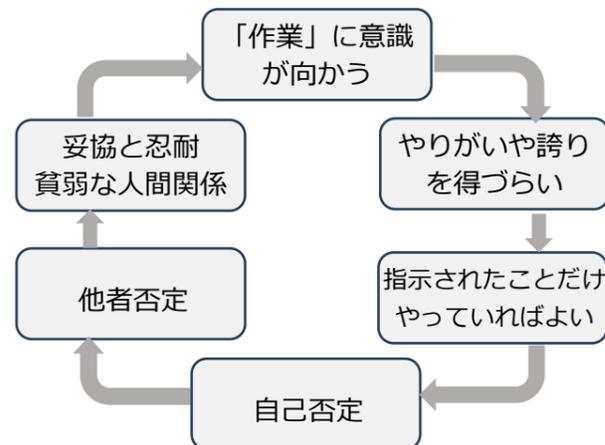
組織が変わるためには、企業の生産性を支える事務スタッフ部門がしっかりしていることが重要です。貴社の事務スタッフ部門は毎日楽しくやりがいをもって仕事をしていますか？自分とチームの強みを知り、組織におけるチームの使命を自覚して描いた、「チームのありたい姿」の未来に向けて、前向きに改善や創造に挑戦する人とチームを創るためのプログラムをご紹介します。

▶事務スタッフ部門が陥りがちな心理と仕事ぶり

社員の働き方の多様化で社内の対応も複雑化しています。また、労働環境、税制、社会保障制度など変更が相次ぎ、事務スタッフ部門（特にコーポレートスタッフ）は対応に追われています。不明なことがあればスタッフに聞けばいいと頼りにされながらも、対応できて当たり前と思われることが多いスタッフは次のような心理状況に陥りやすくなります。

<スタッフの本音>

- ・自分たちの仕事はできて当たり前、日の当たらない仕事
- ・どんなに頑張っても評価されない（給料は上がらない）
- ・スタッフ業務は精算手続や資料作成などの事務作業ではない
- ・スタッフ業務はルーチンばかり



そのまま放置すると仕事ができるようになって（一人前になっても）、自己肯定感が低いままでモチベーションも上がらず、エンゲージメントが低下し、最悪退職につながることもなりかねません。

▶事務スタッフ部門のチームビルディングが必要

事務スタッフ部門が、やりがいをもって仕事に取り組み、業務改善を主体的に進めるようになると、

顧客接点部門（営業部門、アフターサービス部門）が今以上に顧客にエネルギーを投入できます！

業務改善や生産性向上への取り組みが当たり前となります！

全社的に改善や変革への推進力が加速します！



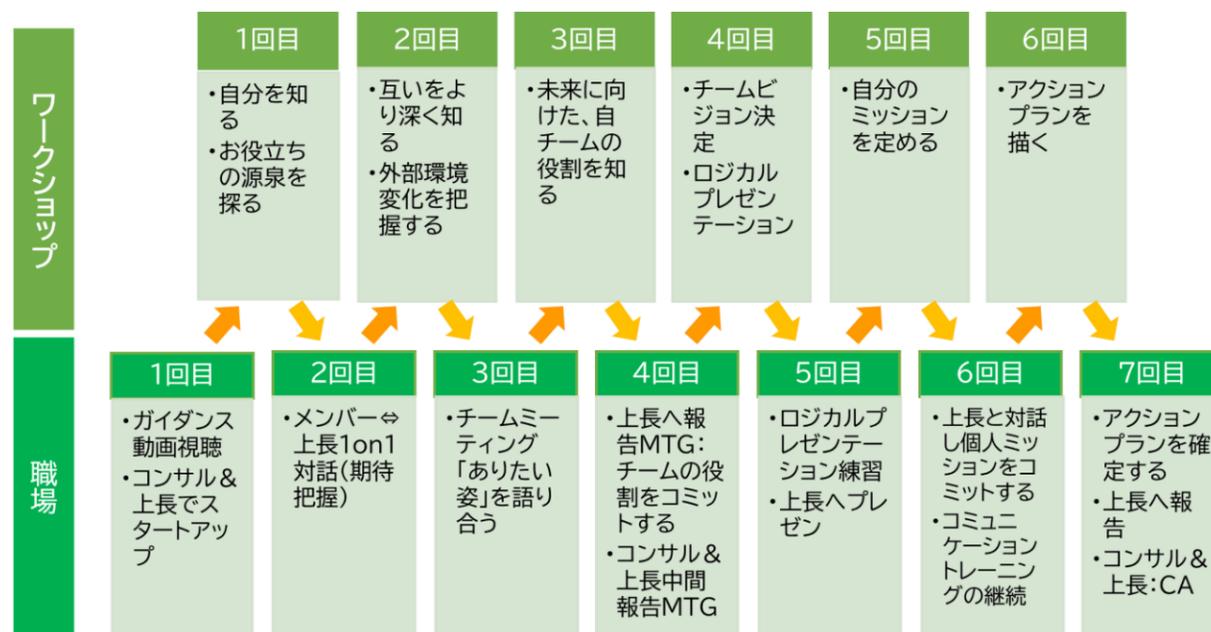
チームビルディングによって期待される効果

- 自分をやる気にさせるツボを知り、自分達で自分達の意欲を高めるようになります
- 会社や仕事に対するエンゲージメントが高まり、スタッフの定着率が向上します
- 主体的に仕事の改善改革に取り組み、生産性の高いチームを追求するようになります
- 全社員に対するサポート力が高まり、全社の生産性向上を支える土台が強化されます



プログラムの内容

自分とチームの強みを知り、組織におけるチームの使命を自覚して描いた「チームのありたい姿」の実現に向けて、前向きに改善や創造に挑戦する人とチームをつくります。



このプログラムは全6回のワークショップと、その間の職場での実践で構成されています。ワークショップでの気づきや学び、チームみんなで決定したことは各回ごとに上長と統合し、学んだことをくりかえし職場で実践することで、自分やチームの変化・成長を感じていくことができます。また、ワークショップの中では、ロジカルプレゼンテーションを学び、スタッフ業務の中でも必要な《伝える力》を伸ばします。

▶プログラムのポイント

POINT

自分とチームの強みを自覚する

自分ののびしろとお互いの強みを知ること、前向きに毎日楽しくやりがいをもって仕事ができる人とチームをつくります。

POINT

ありたい姿を描き、仕事を再定義する

仕事ルーチンワークになってしまいがちな事務スタッフが、自分達の使命を自覚し、未来を描くことで、仕事を単なる作業ではないものにします。

POINT

強いチームを作る

「どうしたらいいの？」という問題意識が日々の作業の中から自然に生まれて、前向きに改善や創造に挑戦しようとするチームをつくります。

強みの自覚

ありたい姿の認識

挑戦する姿勢

- ① 自分達で自分達の意欲を高める
- ② 主体的な業務改善、生産性追求
- ③ 全社の生産性向上を支える

業務効率向上

ストレス軽減

サポート力向上

接点活動の時間増

CS向上

業績への貢献

変革の支援